

平成29年12月8日

(事務担当)  
商工労働部労働企画課  
職業能力開発G 中出  
TEL 076-225-1533  
(内線) 4514

## 第55回技能五輪全国大会・第37回全国障害者技能競技大会の 入賞者及び入賞報告会について

平成29年11月24日(金)～11月27日(月)に栃木県宇都宮市を中心に開催された第55回技能五輪全国大会及び平成29年11月17日(金)～19日(日)に栃木県宇都宮市で開催された第37回全国障害者技能競技大会において、本県から下記の4選手が入賞し、入賞報告会を行う。

### ○技能五輪全国大会入賞者

賞	競技職種(出場選手)	氏名	所属
銀賞	日本料理(73名)	なぐも ゆうへい 南雲 裕平	(株)玉寿司 金澤玉寿司
敢闘賞	日本料理(73名)	ばんの たくま 番野 拓磨	森の栖 リゾート&スパ
敢闘賞	日本料理(73名)	まつしま ゆきの 松嶋 由希乃	割烹みや川

※本県参加選手 5職種7名

### ○全国障害者技能競技大会入賞者

賞	競技種目(出場選手)	氏名	所属
銅賞	歯科技工(5名)	ふじい まなぶ 藤井 学	和田精密歯研(株)金沢ラボ

※本県参加選手 5種目5名

### ○第55回技能五輪全国大会及び第37回全国障害者技能競技大会入賞報告会

日時 平成29年12月13日(水) 10:30～  
場所 石川県商工労働部会議室(行政庁舎12階)  
来庁者 入賞者

## 第55回技能五輪全国大会について

### 1 目的

第55回技能五輪全国大会は、国内の青年技能者の技能レベルを競うことにより、青年技能者に努力目標を与えるとともに、技能に身近に触れる機会を提供することなどを通じて、広く国民一般に対して、技能の重要性や必要性をアピールすることにより、技能尊重気運の醸成を図ることを目的とする。

また、全国大会において、2019年8月にロシア連邦・カザンで開催される第45回技能五輪国際大会において、実施が見込まれる競技職種に関連する一部の競技職種に係る選手の一次選考を行うこととする。

### 2 主催

厚生労働省、中央職業能力開発協会及び栃木県

### 3 後援

文部科学省、経済産業省、国土交通省、都道府県（栃木県を除く。）、都道府県職業能力開発協会、一般社団法人全国技能士会連合会、一般社団法人日本経済団体連合会、一般社団法人日本産業訓練協会、NHK、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、職業能力開発総合大学校、全国専修学校各種学校総連合会、全国中小企業団体中央会、全国農業高等学校長協会、株式会社日刊工業新聞社、日本商工会議所、日本労働組合総連合会

### 4 期間

平成29年11月24日(金)～27日(月) ※一部競技については先行して実施。

### 5 開催場所 栃木県

開閉会式：栃木県体育館

競技会場：マロニエプラザ ほか16会場

### 6 参加資格

日本国籍を有する者

平成6年1月1日以降に生まれた者(23歳以下)

過去の国際大会で同一職種の競技に参加したことのない者

### 7 競技実施職種及び参加者数

42職種 1,337名（本県参加選手5職種7名）

### 8 表彰

成績優秀者には金賞、銀賞、銅賞及び敢闘賞が授与される。

また金賞受賞者には併せて厚生労働大臣賞が授与される。

なお、最優秀技能選手団並びに優秀技能選手団が表彰される。

(参考) 近年の本県選手の実績

第51回大会（平成25年度） 参加選手 4職種8名

敢闘賞 2名（日本料理：中野準、日本料理：東間明人）

第52回大会（平成26年度） 参加選手 5職種10名

銅賞 1名（日本料理：東間明人）、敢闘賞 1名（日本料理：室井凌河）

第53回大会（平成27年度） 参加選手 4職種8名

銀賞 1名（日本料理：中野準）、敢闘賞 1名（建築大工：澤井廉）

第54回大会（平成28年度） 参加選手 1職種2名

敢闘賞 1名（日本料理：浦崎結也）

## 第 37 回全国障害者技能競技大会について

### 1 目 的

障害者が日ごろ培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害者に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図る。

### 2 主 催

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、栃木県

### 3 後 援

厚生労働省、内閣府、文部科学省、経済産業省、中央職業能力開発協会

### 4 期 間

平成 29 年 11 月 17 日(金)～19 日(日)

### 5 開催場所 栃木県

開閉会式：栃木県体育館

競技会場：マロニエプラザ、宇都宮市体育館、栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学  
園

### 6 参加資格

- ・身体障害者、知的障害者及び精神障害者
- ・平成 29 年 4 月 1 日現在 15 歳以上の者
- ・過去の大会で金賞を受賞したことのない者
- ・前回、前々回の国際アビリンピックで金賞、銀賞又は銅賞を受賞していない者
- ・第 33 回から第 36 回までの全国大会において同一職種に 3 大会連続参加した者でない者

以上、全てを満たす者

### 7 競技実施種目及び参加者数

22 種目 372 名 (本県出場選手 5 種目 5 名)

### 8 表彰

成績優秀者には金賞、銀賞、銅賞が授与される。

また、金賞受賞者には別途厚生労働大臣賞が授与される。

努力が著しいと認められた者に対して努力賞が授与される。

(参考) 近年の本県選手の実績

第 24 回大会(平成 11 年度)以降入賞者なし

第 34 回大会 (平成 25 年度)

努力賞 1 名 (オフィスアシスタント 井出 成美)

第 35 回大会 (平成 26 年度)

努力賞 1 名 (オフィスアシスタント 丸本 彩加)